

事務事業名	7559 観光振興事業													
担当組織	環境経済部 経済戦略室							担当	地域魅力創造担当					
組織コード	R6	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R6	01	07	01	04	01	01	記入日	令和 6年 6月17日
	R5	15	01	00		R5	01	07	01	04	01	01		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ							実施計画候補		
基本目標・考え方	07	活力にあふれ人が集い心ふれあうまち			再掲施策	10			● 対象
施策	31	地域資源を活用した観光振興の推進							○ 対象外
事業期間	平成１２年度 ～ 令和１２年度								
根拠法令 通 達 等	戸田市観光事業関係団体振興補助金交付要綱			関連計画 施政方針	戸田市経済戦略プラン				
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの								
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：								
総合戦略	■ 施 策 番 号 ：１－２、３－２								
対象	観光事業を行う団体。市民及び市外からの入込客。								
事業目的	観光資源を活用することで、戸田市への愛郷心向上や集客につなげ、地元経済等の活性化を図る。また、戸田市のシティセールスを行う。								
事業内容	観光振興事業の支援 フィルムコミッション事業 戸田市観光情報館トピック管理業務								
実施主体	□ 市による単独直営 ■ 委託 （ ■ 3セク・財団 □ 企業 □ 市民・NPO） ■ 協働・協力（ 水と緑の公社 ）								
行財政改革 の取り組み									

2. 事業費 <DO>

事業の 予算・実績			令和5年度 執行額（千円）	令和6年度 予算額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）
	主な事業内容		観光事業に対する補助支援 ・観光情報館 運営委託	観光事業に対する補助支援 ・観光情報館 運営委託	観光事業に対する補助支援 ・観光情報館 運営委託	観光事業に対する補助支援 ・観光情報館 運営委託	観光事業に対する補助支援 ・観光情報館 運営委託
	事業費		7,302	22,072	7,833	7,833	7,833
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起債	0	0	0	0	0
		その他	0	1	1	1	1
		一般財源	7,302	22,071	7,832	7,832	7,832
	人件費		5,785.89	5,785.89	5,785.89	5,785.89	5,785.89
	投入 人員	常勤職員	0.89人	0.89人	0.89人	0.89人	0.89人
		非常勤職員	0.8人	0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
	事業費＋人件費		13,088	27,858	13,619	13,619	13,619

3. 目標達成状況 **<CHECK>**

指標名			説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
目標達成状況	事務事業活動①	トビック周知回数	トビックの周知回数	回	2	2	2	2	2
	事務事業成果①	トビック来館者数	トビックの年間来館者数	人	9,000	10,500	11,000	11,500	12,000
	総合戦略KPI①	トビック周知回数	トビックの周知回数	回	11,596	13,555	11,630	—	—
					2	2	2	2	2
					2	2	2	—	—
目標達成状況の分析					A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 観光情報館トビック来館者数について、目標を達成することができた。令和6年度も周知を実施し、利用者数の確保に努めたい。				

4. 評価結果 **<CHECK>**

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	3 年度	4 年度	5 年度	
	B	B	B	B：施策の目標達成に貢献している。 <判断理由> フィルムコミッション事業への協力により市の認知度向上を図りつつ、観光情報館トビックで市のイベント情報の発信や市内産品の展示販売等を行っており、観光振興の推進に寄与している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	3 年度	4 年度	5 年度	
	B	B	B	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> フィルムコミッション事業及び観光情報館トビックの運営について、（公財）戸田市水と緑の公社へ補助金交付や、管理委託を行い、職員の人件費を削減し、経費の適正化を図っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	3 年度	4 年度	5 年度	
	B	B	B	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> フィルムコミッション事業及び観光情報館トビックの管理業務について、（公財）戸田市水と緑の公社へ委託を行い、職員の事務負担を軽減し、適正化を図っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3 年度	4 年度	5 年度	
	B	B	B	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> フィルムコミッション事業及び観光情報館トビックの管理業務などについての支出はあるが、観光振興等に寄与しており、市内の経済効果を考慮すると適正な範囲であるといえる。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 **<ACTION>**

令和5年度に実施した取組内容・効果	
令和6年度に実施する取組内容	

6. 令和7年度の方向性・取組方針 **<ACTION>**

事業の方向性・取組方針	● 1 現状で継続 ○ 2 拡大して継続 ○ 3 縮小して継続 ○ 4 他事業と統合 ○ 5 休止 ○ 6 その他見直し ○ 令和7年度で終了 ○ 令和6年度で終了 ○ 令和5年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針> 戸田市の魅力を市内外に発信することにより、市の認知度を高め、人や企業を呼び込み、将来にわたる街の活力が維持されたい。そのため、市のみならず、各団体等と協力しつつ、引き続き地域資源を活かした取組を実施していく。 なお、観光情報館トビックについては、より効果的に観光情報を発信する拠点とし、来館者数の向上や運営方法の見直しを引き続き検討していく。

事務事業名	51206 戸田橋花火大会事業													
担当組織	環境経済部				経済戦略室					担当		地域魅力創造担当		
組織コード	R6	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	R6	01	07	01	04	01	02	記入日	令和 6年 6月16日
	R5	15	01	00		R5	01	07	01	04	01	02		

1. 事務事業の概要 <PLAN>

総合振興計画上の位置づけ										実施計画候補	
基本目標・考え方	07	活力にあふれ人が集い心ふれあうまち				再掲施策				● 対象 ○ 対象外	
施策	31	地域資源を活用した観光振興の推進									
事業期間	～ 令和１２年度										
根拠法令 通 達 等	戸田橋花火大会実行委員会補助金交付要綱				関連計画 施政方針	戸田市経済戦略プラン					
事業区分	○ 法定受託事務 ○ 自治事務のうち義務的なもの ● 自治事務のうち任意のもの										
強靱化計画	□ リスクシナリオ番号：										
総合戦略	□ 施 策 番 号：										
対象	戸田橋花火大会実行委員会										
事業目的	本市の夏の風物詩として多くの方に親しまれている戸田橋花火大会を開催し、観光行政及び明るく潤いのある地域コミュニティの発展を目的とする。										
事業内容	戸田橋花火大会を開催する。										
実施主体	□ 市による単独直営 □ 委託 （ □ 3セク・財団 □ 企業 □ 市民・NPO） ■ 協働・協力（ 水と緑の公社等 ）										
行財政改革 の取り組み											

2. 事業費 <DO>

事業の 予算・実績			令和5年度 執行額（千円）	令和6年度 予算額（千円）	令和7年度 計画額（千円）	令和8年度 計画額（千円）	令和9年度 計画額（千円）
	主な事業内容		戸田橋花火大会の開催	戸田橋花火大会の開催	戸田橋花火大会の開催	戸田橋花火大会の開催	戸田橋花火大会の開催
	事業費		142,740	141,108	161,205	161,205	161,205
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		起 債	0	0	0	0	0
		そ の 他	0	11	7	7	7
		一般財源	142,740	141,097	161,198	161,198	161,198
	人 件 費		4,355.67	4,355.67	4,355.67	4,355.67	4,355.67
	投入 人員	常勤職員	0.67 人	0.67 人	0.67 人	0.67 人	0.67 人
		非常勤職員	0.09 人	0.09 人	0.09 人	0.09 人	0.09 人
	事業費＋人件費		147,096	145,464	165,561	165,561	165,561

3. 目標達成状況 <CHECK>

指標名			説明・算定式	単位	R 3 目標 R 3 実績	R 4 目標 R 4 実績	R 5 目標 R 5 実績	R 6 目標 R 6 実績	R 7 目標 R 7 実績
目標達成状況	事務事業活動①	花火大会会場出店に係る商店等への周知	花火大会会場出店に係る商店等への周知回数	回	2	2	2	2	2
	事務事業活動②	市内企業等への協賛依頼	協賛依頼者数	者	80	80	80	80	80
	事務事業成果①	花火大会会場での出店数	花火大会会場での商店の出店数	店	7	7	7	7	7
	事務事業成果②	協賛の獲得	協賛者数	者	160	160	160	160	160
					0	0	173	—	—
					0	0	33	—	—
					0	0	183	—	—
目標達成状況の分析					A：全ての目標を達成した。 <判断理由> 令和5年は4年ぶりの第70回大会ということで、積極的に協賛者や出店者の獲得を図り、多くの方楽しんでもらえる大会の開催となったことにより、地域コミュニティの発展に寄与できた。				

4. 評価結果 <CHECK>

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	3年度	4年度	5年度	
	B	B	A	A：施策の目標達成に大いに貢献している。 <判断理由> 大会の開催に当たっては、市内外から多くの観覧者が来場するため、観光振興の推進に貢献している。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	3年度	4年度	5年度	
	B	B	B	B：経費は適正な範囲である。 <判断理由> 大会実施に当たっては有料席の販売や協賛金の収益により、適正な経費で事業を行っている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	3年度	4年度	5年度	
	B	B	B	B：事業手法は適正な内容である。 <判断理由> 大会実施時の運営は会場設営や有料席販売、警備業務等を委託することで、職員の負担軽減を図っており、適正に行っている。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	3年度	4年度	5年度	
	B	B	B	B：受益・負担は適正な範囲である。 <判断理由> 大会実施時には、煙火費や警備費などに係る支出があるものの、有料席料金や協賛金の収入がある。また、多数の来場者による経済効果を勘案すると、適正な範囲といえる。

5. 事業の見直し・行財政改革の取組内容 <ACTION>

令和5年度に実施した取組内容・効果	
令和6年度に実施する取組内容	

6. 令和7年度の方向性・取組方針 <ACTION>

事業の方向性・取組方針	● 1 現状で継続 ○ 2 拡大して継続 ○ 3 縮小して継続 ○ 4 他事業と統合 ○ 5 休止 ○ 6 その他見直し ○ 令和7年度で終了 ○ 令和6年度で終了 ○ 令和5年度で終了
	<方向性の判断理由・取組方針>
	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度から3年連続で大会が中止となっていたが、令和5年度では戸田市を代表するイベントである戸田橋花火大会の4年ぶりの開催により、市内外に戸田市のPRを行うことで、観光客増加を図るとともに、市内経済の活性化に繋がるよう取り組むことができた。 戸田橋花火大会の開催方式については、令和6年度の会場作りや警備体制等を踏まえ、令和7年度以降も多くの方が安心して楽しんでもらえるよう実施し、観光振興の推進を図りたい。